

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

**※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。**

1. 学校概要

学校名 新潟市立宮浦中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒950-0088
新潟市中央区万代5丁目6番1号

E-mail : j307miyaura@city-niigata.ed.jp

Website : http://www.niigata-miyaura-j.city-niigata.ed.jp/

児童生徒数：男子 302名 女子 254名 合計 556名
 児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

当校では、平成24年7月のユネスコスクール認定を契機に、持続可能な地域づくり活動を、ESDとして教育課程に位置付け、生徒会における観光・伝統文化・環境美化花育の地域貢献活動を中心として、総合学習では防災、観光、まちづくり、国際理解の学習に取り組んでいます。

I 生徒会による地域貢献活動の展開

1 観光ガイド委員会による観光ボランティア活動

地域にある国際コンベンション施設「朱鷺メッセ」展望室や新潟日報メディアシップで中学生による観光ボランティアガイド活動を展開しています。生徒会に「観光ガイド委員会」を創設し、全校生徒誰もが参加できる地域ボランティア活動として、今年度は40名が、年間を通じて活動しました。伝統の食文化の紹介、国際理解などのESD教育を進めています。委員は地域の方から新潟のまちの良さを学びながらガイドの技術を身に付け、ここを訪れる県内外、国内外の多くの観光客に、朱鷺メッセでのパノラマガイドを通じて、新潟のすばらしさを紹介しています。

2 観光ガイド委員会による地域づくり研修

地域で中学生が観光ボランティア活動に取り組む意義について、観光や地域の魅力づくりに取り組む方々を招いてフォーラムを開催しています。今年は、フリーライター石坂智恵美さんの「新潟の食のお土産」、にいがた観光カリスマ野内隆裕さんの「朱鷺メッセから眺める新潟の町」の講演、新潟日報取締役の鈴木聖二さんのコーディネートによるパネルディスカッションを行いました。当日は主催の万代地域コミュニティ協議会をはじめ保護者、地域の方々からも参加していただきました。

また、観光ガイドの研修を目的に、タカギ農場(北区)の高橋治儀さん、太田農園(西区)の太田誠さん、大郷屋種苗(秋葉区)の中野節子さん、利き酒師の栗原靖子さんをお招きし、「食・自然」を中心テーマとしたお話をお聞きしました。現在の新潟の農業の特徴や課題、花卉栽培の歴史やアザレアやぼけ等の花の種類、日本酒生産のあり方等を学んだ後、観光ガイド委員の生徒が感想発表や質問をして知識を深めました。

3 万代太鼓委員会・吹奏楽部による伝統文化まちづくり活動

新潟市が行う夏のイベント「新潟・沼垂合併100周年記念萬代橋フェスティバル」に参加し、通行止めにした萬代橋の上で演奏を披露しました。

新潟まつりのイベントとして、新潟駅前広場にて『ふれ太鼓』、『新潟まつりキラキラパレード』に参加しています。たくさんの方から温かい拍手と応援をいただきました。この他、新潟市歴史博物館「みなとぴあ」10周年記念祭で万代太鼓委員会と吹奏楽部が演奏するなど、地域のイベントに積極的に参加することで、地域の活性化に取り組んでいます。

4 委員会・部活動による環境美化・花育まちづくり活動

新潟まつりに訪れる皆さんにきれいな新潟を見ていただけるようにと、地域のクリーン作戦に、部活動の生徒を中心に約90名の生徒が参加しま

した。清掃活動によって「心が満足する」ということがあります。清掃活動の意義は、「心が満足する」ことだということ、クリーン作戦をとおして、子どもたちが自然に理解してほしいと思います。

春と秋の年2回、新潟のまちの中心部を花でいっぱいにしてという運動に取り組んでいます。秋の花いっぱい運動では、プランターにパンジーとビオラ、チューリップの球根を植えました。（陸上部・野球部・男子テニス部）現在、パンジーとビオラが、春には、チューリップが目を楽しませてくれます。

Ⅱ 総合学習における防災教育

信濃川の河口に位置する当校にとって、防災は大きなテーマ。そこで総合学習で防災学習に取り組んでいます。地震や津波などの自然災害から「自分や家族など、人の命を守るため」「被害を最小限度にとどめるため」などの知識を学び、9月フィールドワークを行いました。防災の視点で自分の住む地域を見直してみたとき、有事は無事の備えにあることに気づいていきます。

いざというときの備えを日頃から考えておくということが大事だということに気づくと、次は災害に強い「街づくり」をどう進めるかということが新たな課題として見えてきます。現在、新潟のまちをよりよいまちにするために、課題を解決する方策を考え、いくつかの提案(提言)をまとめています。実際に役立つ提案(提言)にするには、課題を解決するために調査した内容がしっかりしていなければ、現実合う提案(提言)が難しいことを実感している生徒も多いようです。この新潟地域学習で学んだことを踏まえて、来年4月に関西で行う修学旅行の班別自主研修において、自分たちの住む新潟を一層よりよいまちにするための調査活動を実行していきたいと考えております。

非常時に強くあるためには、日常の中で高齢者や弱者に優しい街であるか、孤立しない交通網はどうすればいいのか、農業特区としてのふるさと新潟、観光資源としてのふるさと新潟、地元の企業は…。様々な視点から日常のふるさと新潟の街づくりを考える活動へとつながっていきます。ふるさと新潟の現状を知り、「よりよいふるさとにするにはどうすればよいのだろう」と考える学習へと引き継いでいきます。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()